

主催：名古屋工業大学大学院 産業戦略工学専攻  
共催：名古屋市立大学大学院 経済学研究科，協賛：野村證券(株)  
経営トップセミナー「事業継続マネジメント」

日時：11月30日(水) 13:00 (受付開始：12:40)

場所：名古屋工業大学2号館1階0211教室

参加費：無料

開会挨拶：13:00

講演1：13:10～14:10

「サプライチェーンにおける調達リスクのマネジメント

～グローバル・サプライチェーンの構築と変革における課題とは？～」

名古屋市立大学大学院 経済学研究科 准教授 下野由貴 氏

近年、自動車産業におけるサプライチェーンのリスクマネジメントの重要性が増大しています。2008年の世界同時不況に伴う需要の激減や、2011年の東日本大震災による部品供給の停滞などは、世界全体にダメージを与えました。これは、2000年代に入ってから、米国自動車メーカーを中心に部品調達のグローバル化が展開されてきたからです。しかし、実際は当初の思惑通りにグローバル調達が機能しているとは言えません。本講演では、欧米自動車メーカーと比較しながら、日系自動車メーカーの部品調達に伴うリスクのマネジメントについて考察します。

講演2：14:20～15:20

「3.11に学ぶこれからの事業継続マネジメント（BCM）

～国内外に広がったサプライチェーン途絶の影響と今後の取組み～」

名古屋工業大学大学院 工学研究科 教授 渡辺研司 氏

東日本大震災では被災地域内のサプライチェーンや特定企業への集中リスクが把握されていなかったことに起因する、国内外の広範囲に及ぶ商流の途絶と経済的被害の拡大が見られました。本講演では、地域内の利害関係者間でサプライチェーンの情報を共有しながら、広域災害時のみならず通常時の産業振興にも活用できるような仕組みを、産業連関分析、関係性解析からDBMS、GISの活用といった学術横断的なアプローチと官民連携によって構築する必要性と可能性についての議論を展開します。

講演3：15:30～16:30

「日本経済の現状と今後 ～低成長・低金利・円高時代の心構え～」

野村證券 投資情報部 有賀政美 氏

国内では東日本大震災の影響が尾を引き、為替相場も円高が続いています。欧州の債務危機や米国景気の2番底懸念問題も取沙汰され、経営を取巻く環境は予断を許さない状況が続いています。本講演ではそのような状況を踏まえ、経営者の皆様に日本経済の現状と見通しをお話します。

閉会挨拶

参加申し込み：

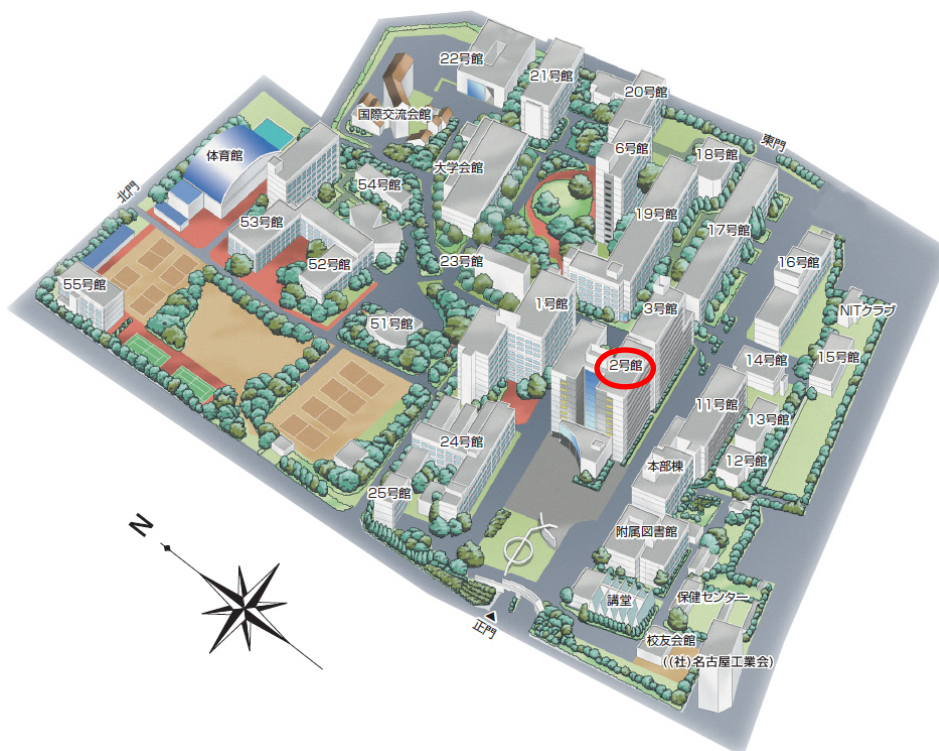
参加を希望される方は [baba.keiko@nitech.ac.jp](mailto:baba.keiko@nitech.ac.jp) 馬場慶子宛 ご氏名とご所属（会社名，大学名）をご連絡ください。

問い合わせ先：

名古屋工業大学大学院 産業戦略工学専攻 仁科 健 [nishina@nitech.ac.jp](mailto:nishina@nitech.ac.jp)



名古屋工業大学へのアクセス



学内マップ（会場：2号館1階）